
第 12 報 平成 29 年 12 月 19 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

平成 28 年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格及び供給情報について、平成 29 年 12 月 15 日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

【生コンクリート】

（熊本地区）

熊本地区の11月の出荷量は6万4,189m³と前年同月とほぼ同水準（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。元交通センター等の跡地再開発工事の大型物件もあり、需要は堅調。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万5,500円どころ。熊本地区生コン協組では、アジテーター車のチャーター料金の値上がりによる運搬コストの増加、人材確保に伴う人件費の増加、骨材の値上げ要請等をふまえ、4月以降の契約物件よりm³当たり1,000円の値上げを表明し、需要者と交渉に臨んでいる。しかし、需要者側は値上げに抵抗しており、交渉に進展は見られない。先行き、横ばいで推移する見通し。

（阿蘇地区）

阿蘇地区の11月の出荷量は2万6,216m³と前年同月比105%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。震災復興関連工事等が本格化してきたことにより出荷は大幅に増加している。それに伴い、アジテーター車が不足していることから、需給はややひっ迫している。今後も、国道57号線の復旧関連工事等の大型需要が控えており、さらなる需要増が見込まれている。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、震災復興関連需要による出荷量の増加に対応するため、他地区からのアジテーター車のチャーターを増やすなど安定供給に努めている。先行き、横ばいで推移する見通し。

【コンクリート用砕石】

（熊本地区・阿蘇地区）

震災復興関連工事、元交通センター等の跡地再開発工事等で需要は堅調。販売業者側は運搬車両が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は20～5mmが熊本地区でm³当たり3,200円、阿蘇地区でm³当たり3,600円どころ。熊本地区砕石共販協同組合ではダンプのチャーター料金の値上がりによる運搬コストの増加、人件費の上昇、出荷量の増加に対応するための設備更新費の増加を背景に10月1日取引分よりm³当たり200円の値上げを表明し売り腰を強めている。大口需要者の生コンメーカーは生コン需要が増加するなか、原材料の安定供給を優先するため、値上げを容認する姿勢に傾きつつある。先行き、強含み推移の見通し。

【アスファルト混合物】

（熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の10月の出荷量は8万2,157tと前年同月比8%減（日本アスファルト合材協会調べ）。県道等の復旧に伴う舗装工事が発注になっているが、本格的な出荷は年明け以降になる見通しで、今のところ需給は均衡している。

価格面では、ダンプのチャーター料金が値上がりしており、運搬コストは増加している。主原材料であるスト・アス価格は強含みで推移し、砂は値上がり、砕石についても値上げ要請を受けている。原材料価格が強基調で推移するなか、メーカー側は価格の引き上げを検討している。ただ、需要者側の購買姿勢は厳しく、現行価格の維持が精一杯の状況。先行き、横ばいで推移する見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【平成29年12月15日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
		需給	価格見通し						
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [128]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [189]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砕石 20~5mm [189]	熊本	—	(変動なし)	m3	3,200	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
	阿蘇	—	(変動なし)	m3	3,600	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
再生 クラッシュラン 40~0mm [189]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	ややひっ迫	均衡	横ばい
	阿蘇	2016年 12月号	200円上伸	m3	3,000	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [320]	熊本	—	(変動なし)	t	11,200	変わらず	均衡	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1~2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【平成29年12月15日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [20]	熊本	製品の供給面に問題はなく、需給は均衡している。原料の鉄屑価格の高騰により、SD295 D16で先月比t当たり3,000円の上伸。メーカーは強気の販売姿勢を崩していないことから、先行きも、強含みで推移する見通し。	均衡	均衡	強含み
型枠材 コンクリート型枠用合板 [213]	熊本	供給面では、産地側の原木不足による生産および出荷の遅れが影響し、市中に品薄感がみられる。需要面では、熊本市中心部の大規模再開発、学校施設、商業施設向けが好調に推移している。産地価格の高止まりを受け、販売側では採算重視の姿勢を強めており、価格は前月比で枚当たり20円上伸。需給はこの先もタイトな状況が続く公算が高く、強含み推移の見通し。	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
仮設鋼材賃貸料金 鋼矢板・H形鋼 鋼製山留材 ・鋼製覆工板・敷鉄板 [280～286]	熊本	都市部再開発工事、熊本地区の復興案件をはじめとし、仮設鋼材需要は旺盛で高い稼働率を保っている。各リース会社は数年先の需要減少を見越して、当面は現行の保有量を維持する構え。価格は横ばいで推移。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい

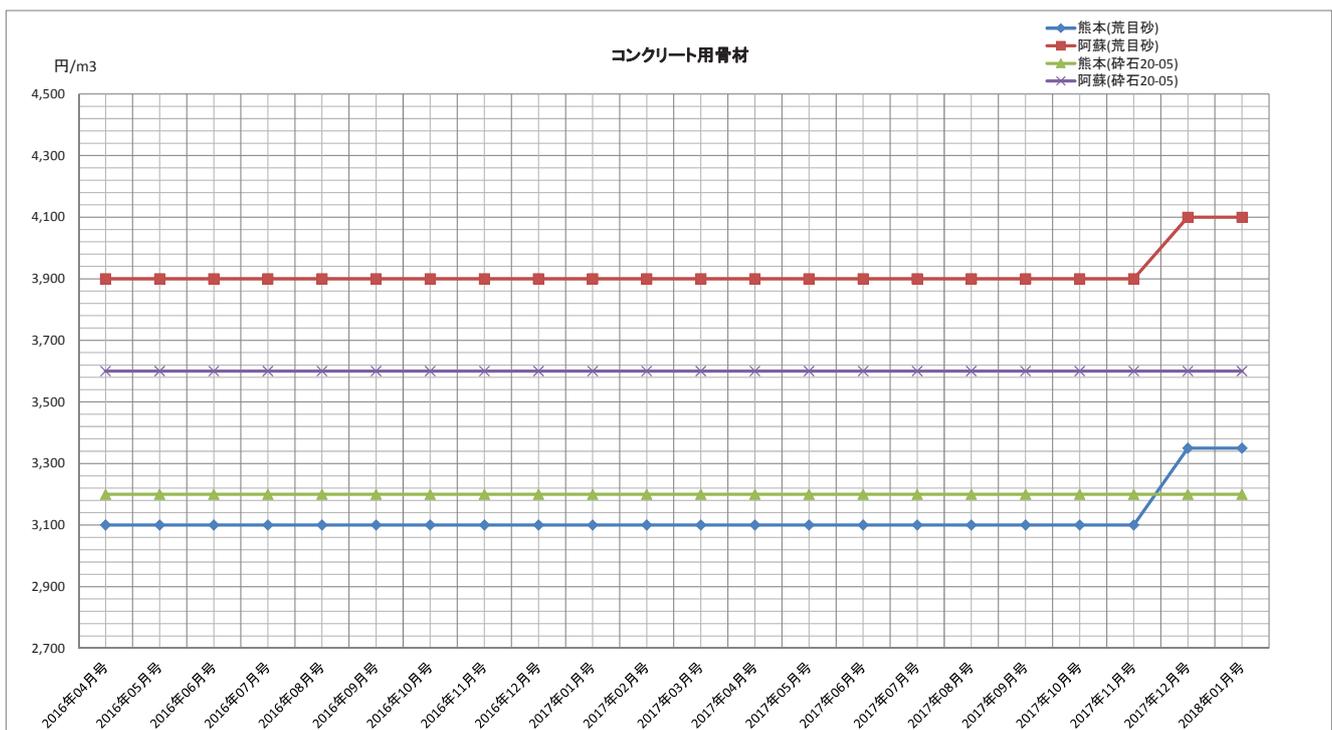
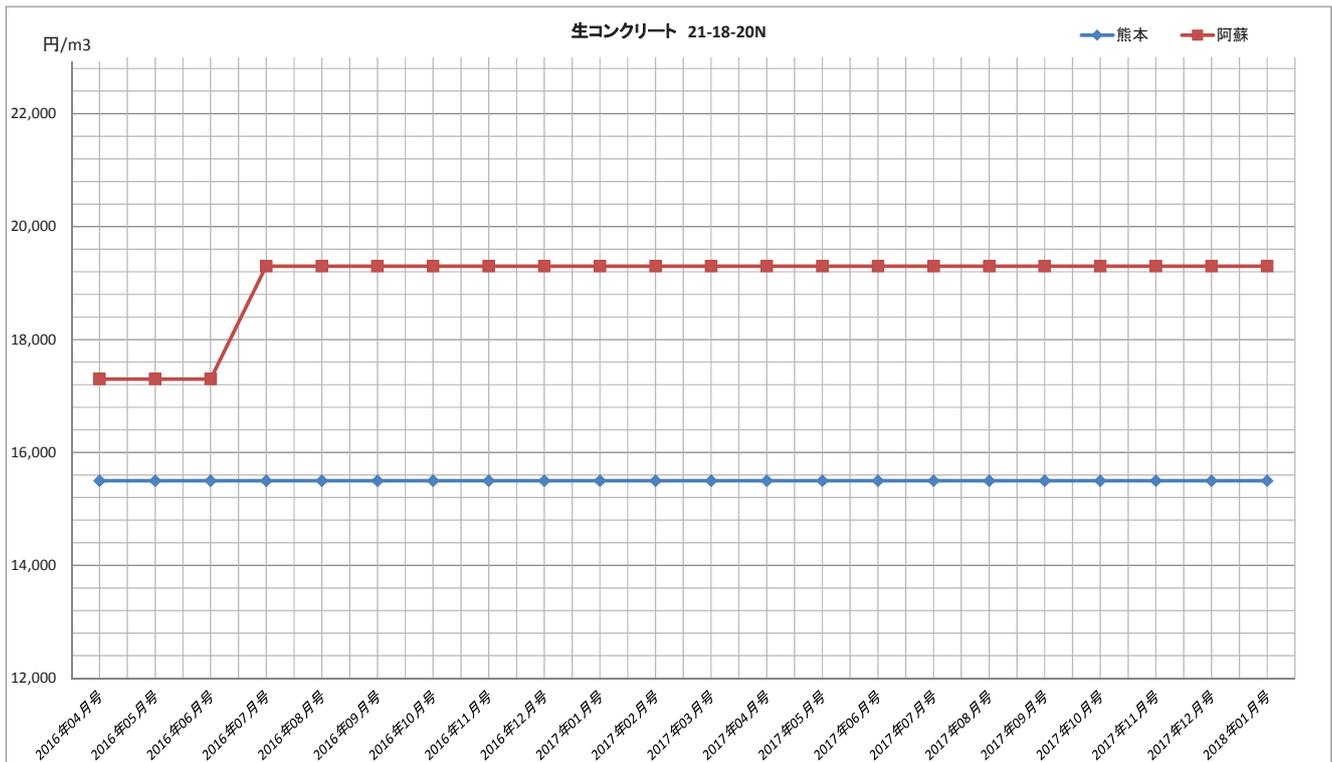
【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

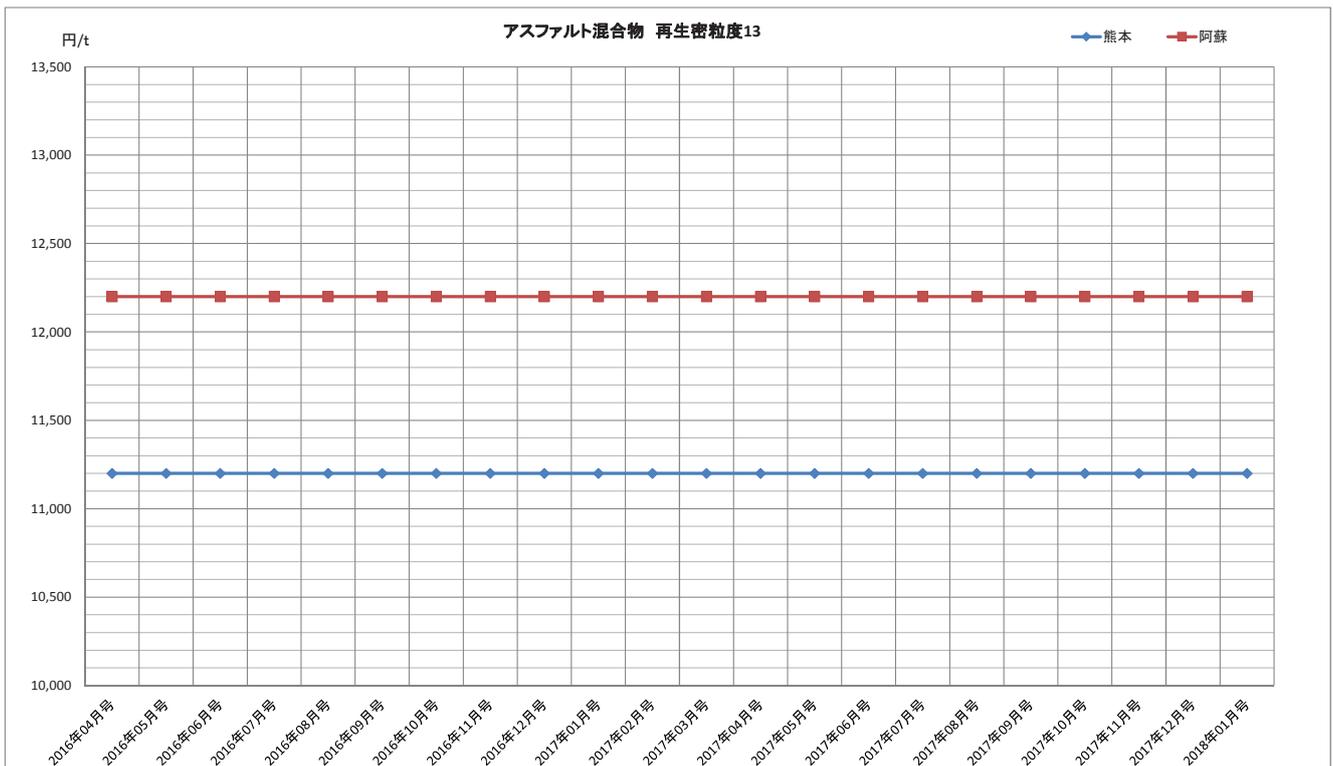
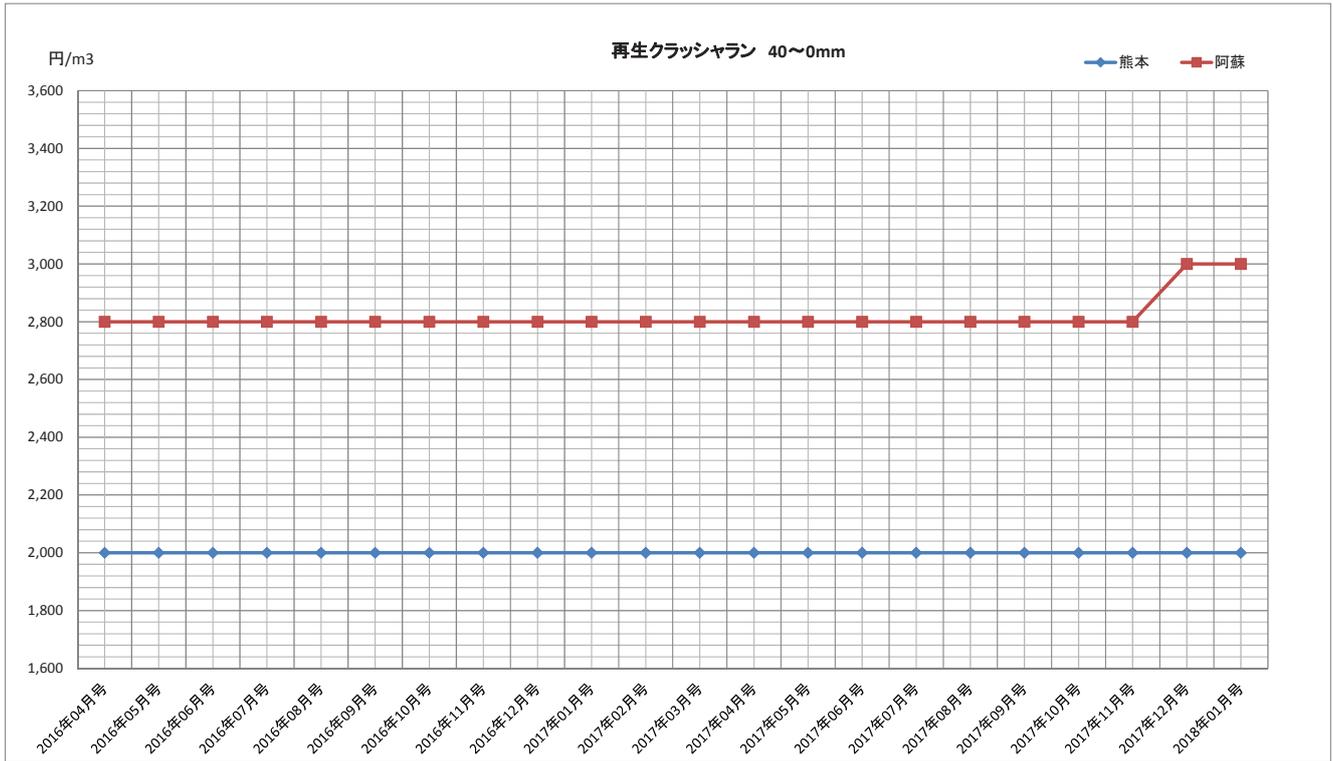
【平成29年12月15日 現在】

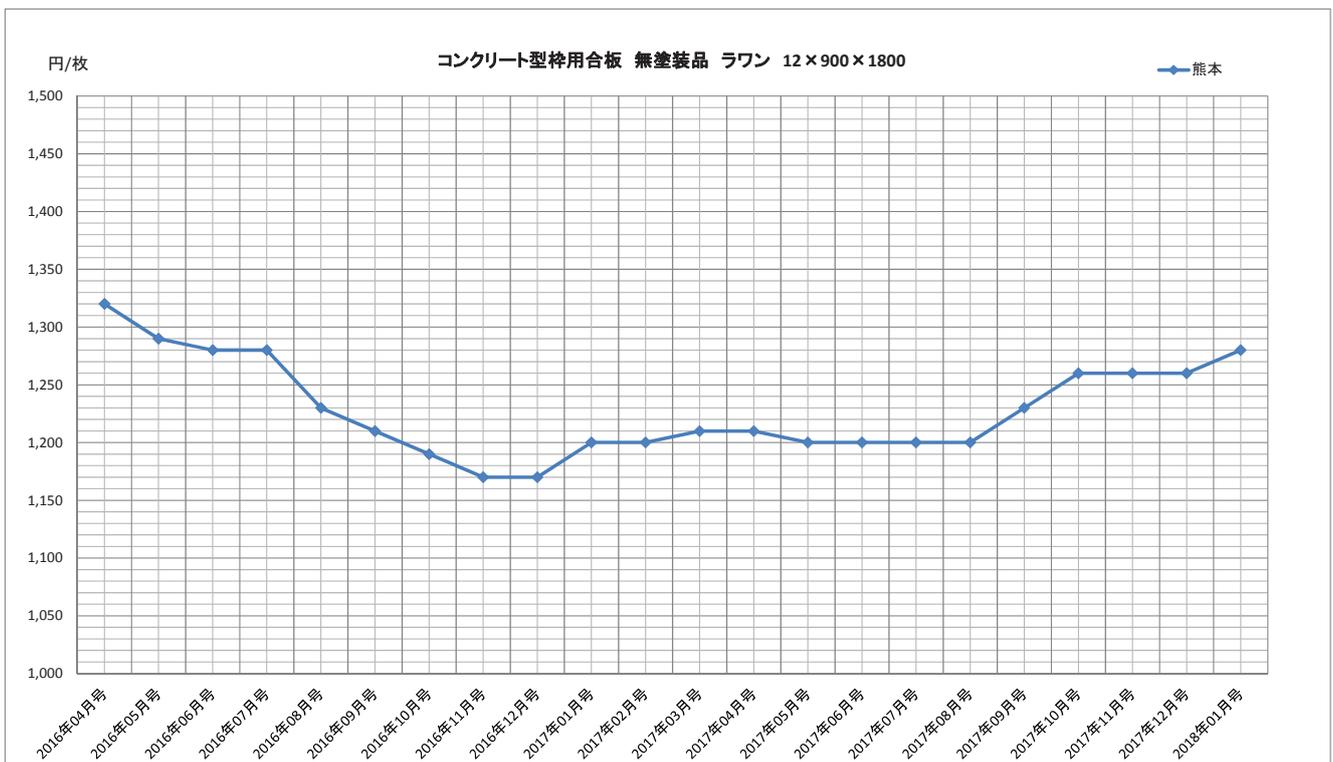
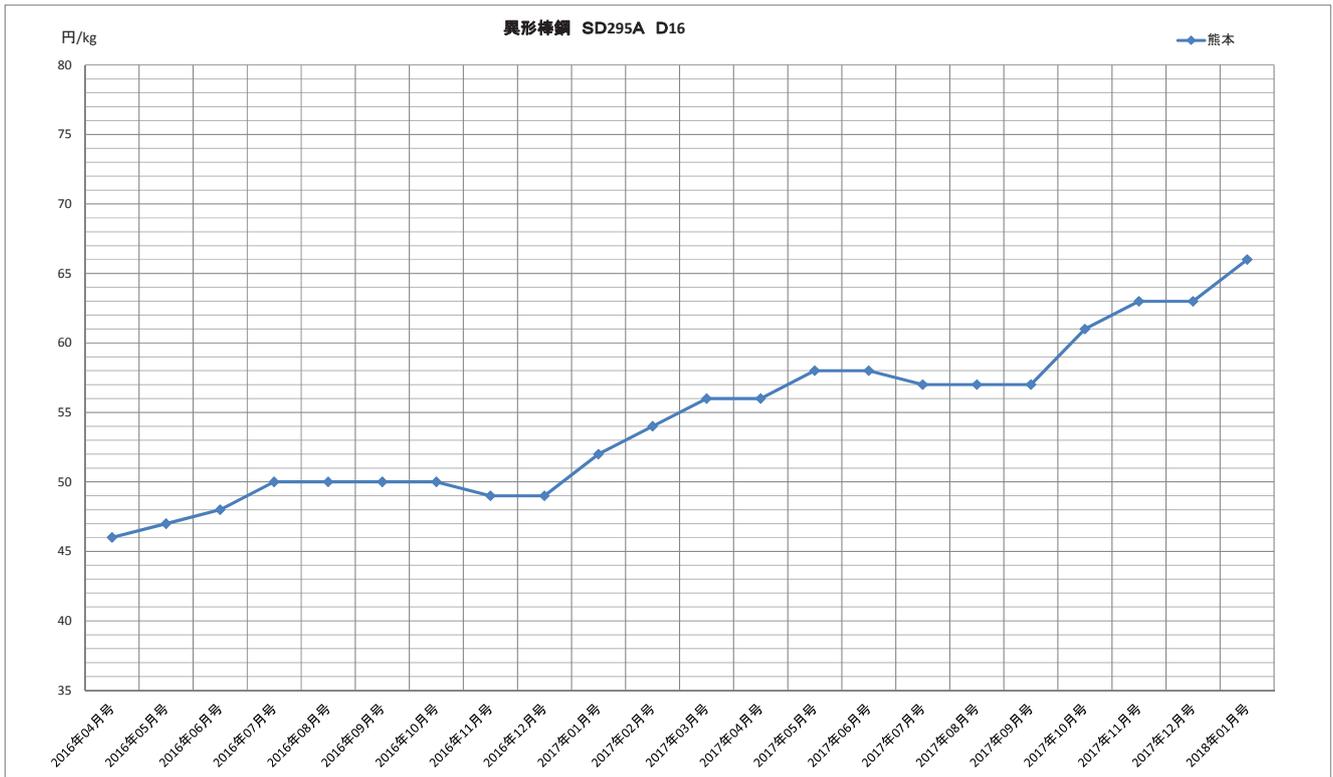
資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
土木工事市場単価 鉄筋工(手間のみ) [土木施工単価3~9]	熊本	一般構造物でt当たり58,000円と前回調査比2,000円上伸。土木系の鉄筋工事は、被災した熊本市を中心に復興工事が増加している。こうした中、鉄筋工の需給はひっ迫しており、専門工事業者側による粘り強い値上げ要求が奏功し、元請業者側が受け入れた。これから年度末まで、現在の需給状況が継続するものとみられ、当面は強含みで推移する見通し。	ひっ迫	ひっ迫	強含み
建築工事市場単価 鉄筋工事(手間のみ) [建築施工単価10~13]	熊本	市内商業施設や既存建築物の耐震改修、県下の農業施設向け物件をはじめ、大規模再開発の躯体工も稼働しており、専門工の稼働率は総じて高い。タイトな労務需給を背景に市況は続伸し、RCラーメン構造・階高3.5~4.0m程度・形状単純でt当たり52,000円どころと、前回調査比2000円方上伸。需給のタイト感はいしばらく続き、先行きの市況も強含みで推移する見通し。	ひっ迫	ひっ迫	強含み
建築工事市場単価 型枠工事(材工共) [建築施工単価20~23]	熊本	需要は、市街中心部の大規模再開発工事が本格化している。これに既存の文教施設向け、商業施設向け物件の稼働が重なり、労務需給はひっ迫している。市況も小幅ながら続伸し、価格は、普通合板型枠・ラーメン構造・地上軸部階高3.5~4.0mでm2当たり4,600円どころと前回調査比100円方上伸。需給はなおひっ迫した状況が続くとみられ、先行きも強含み推移の見通し。	ひっ迫	ひっ迫	強含み

【特記】 需給動向は専門工事業者及び総合工事業者に確認し、直近3か月前と比較した結果である。

【主要資材の価格推移】







【工事市場単価の価格推移】

